

デイケア通信

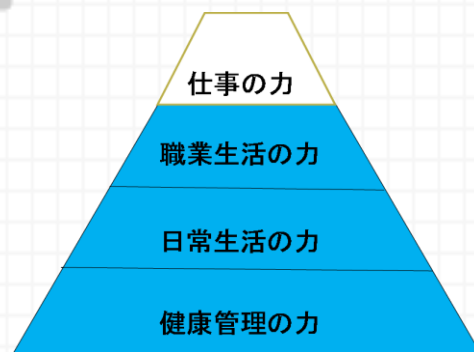
“ステップ”プログラム紹介

近年、いわゆる〔障害者雇用〕の拡大が目に見えて増える傾向にあります。さらには、働き方の多様化も世の中の大きな流れになっています。そこで、デイケアでは“ステップ”プログラムを今年度平成28年度の春から開始しました。

このプログラムはファースト・セカンドの2つの段階に分かれています。

ファーストステップでは、自分にとって“はたらくこと”にどのような意味があるのか“はたらくことに必要なことは何か”をグループワークのなかで考えていきます。

セカンドステップでは、より具体的に右の図表で示したように、はたらく上での土台になる健康管理について学びます。さらに、働くための準備をするにはどんなサービスがあるのかを学びます。そして、ハローワークの職員から実際に説明を聞いたり、就労系事業所へ見学を行います。



はたらくための“富士山”とは

“はたらくために必要な力”は4つあり、健康管理の力が土台となります。



健康管理には相談する力は大切



ステップは
グループワーク中心

■参加者の声

- ・グループワークでは、自分一人では気づかないことに気付いたり、他者の考えが聞けて良かった。
- ・自分の中にあるものを言葉で表現し誰かに伝えることができた。
- ・自分のことを考えるよい機会となった。
- ・目標を再確認することで今できることは何かを考える機会となった。
- ・ハローワークの方から情報をもらい、具体的なことが知れて良かった。また、就労移行支援事業所の見学では得るものがあった。
- ・仕事をする前の生活環境を整えることが大切と思った。

デイケアでは昨年、どなたでも体験できる“フロンターレ就労体験”（等々カスタジアムの清掃）、当事者の体験談を聞く“就労セミナー”の参加を積極的におこないました。

デイケアではみなさんの“ステップ”への参加をお待ちします。

